



AS MXF Video Inserter

製品マニュアル

2026/9/4版

ver1.1.0

目次

1. はじめに.....	4
1.1. 本マニュアルについて.....	4
1.2. 製品概要.....	4
1.3. 動作環境と前提条件.....	5
2. AS MXF Video Inserter 機能概要.....	6
2.1. 簡単操作.....	6
2.2. バックグラウンドインサート処理.....	7
2.3. アダプティブGOP編集.....	7
2.4. 自動トランスコード機能.....	8
2.5. MOV追記モード.....	8
2.6. 書き出しモードとリカバリ.....	8
2.7. 簡易ファイルチェック機能.....	9
3. インストールとセットアップ.....	10
3.1. ダウンロード手順.....	10
3.2. インストール方法.....	10
3.3. ライセンス認証とアクティベーション.....	10
3.4. ライセンスの更新.....	15
3.5. ライセンスの解除.....	16
4. 使い方.....	19
4.1. ソフトウェアの起動.....	19
4.2. メイン画面.....	19
4.3. メニューについて.....	25
4.4. インサートファイル一覧画面.....	27
4.5. 書き出しダイアログ.....	29
4.6. ガイドスーパー表示機能.....	31
4.7. インサート履歴画面.....	32
4.8. キャッシュフォルダ設定ダイアログ.....	33
4.9. ショートカット一覧.....	35
5. Web設定画面.....	37

5.1. 基本設定画面.....	38
5.2. プロキシ設定.....	40
5.3. ライセンス設定.....	41
5.3.1. このアプリについて.....	42
5.3.2. OSS／サードパーティライセンス.....	42
6. トラブルシューティング.....	43
6.1. よくある質問とその解決策.....	43
7. 補足情報.....	47
7.1. ライセンスとトライアルについて.....	47
8. サポートについて.....	47

1. はじめに

1.1. 本マニュアルについて

このマニュアルは、『AS MXF Video Inserter』のインストール方法および操作方法を解説しています。

1.2. 製品概要

『AS MXF Video Inserter』は、MXF/MOVファイルに対して、タイムコードを基準に映像および音声をインサート編集できるソフトウェアです。

オリジナルファイルとインサート後の状態をタイムラインに並べてプレビューしながら、差し替え後の映像を確認できます。インサート対象は映像、音声の各Chを個別に指定できます。

主な機能は以下の通りです。

- オリジナルMXF/MOVファイルの読み込み
- インサート用MXF/MOVファイルの追加(※)
- タイムコードを基準にしたインサート位置の調整
- 映像・音声チャンネルごとのインサート対象指定
- オリジナルとインサート後の2画面プレビュー
- PCスピーカーまたはSDI出力によるプレビュー
- オリジナルへ直接インサート、コピー書き出し、リラップ書き出し
- CSV/PDF形式のインサート記録ファイル出力
- インサート履歴の確認と、直接インサート時のリカバリ

※ オリジナルがMOVの場合、インサートファイルで指定できるファイルもMOVのみとなります。

1.3. 動作環境と前提条件

本製品は以下の環境で動作します。

対応OS	Windows 10以降(x64)、macOS 12以上
CPU	プレビューを行う場合はCore i5以上
GPU	OpenGLが動作すること
メモリ	8GB以上
ストレージ	10GB以上の空き容量。 書き出しやキャッシュ生成を行うため、十分な空き容量のあるSSDを推奨します。
SDI出力対応デバイス	BlackMagic Design社製 DeckLinkシリーズ、UltraStudioシリーズ ※Desktop Videoドライバ(バージョン14.4以降)のインストールが必要です
対応ファイル (オリジナルファイル)	フォーマット:XDCAM HD422(MXF)、ProRes(MOV) 解像度:1920 x 1080 フレームレート:29.97i、29.97p
対応ファイル (インサートファイル)	XDCAM HD422.MXF または ProRes(MOV) を追加できます。 ただし、オリジナルがProRes(MOV)の場合、インサートファイルで指定できるファイルもProRes(MOV)のみとなります。 また、オリジナルと解像度、フレームレートなどの属性が異なるファイルは登録できません。 オリジナルがMXFかつ29.97iの場合に限り、29.97pのMOVファイルを指定することができます。

※ 本製品はマレーシア国ではご使用になれません

2. AS MXF Video Inserter 機能概要

2.1. 簡単操作

『AS MXF Video Inserter』は、非常に簡単にオリジナルのMXF/MOVファイルに対し、インサートを行うことができます。

基本的な使い方は、

- ① オリジナルファイルをD&D(ドラッグ&ドロップ)
- ② インサートしたいファイル(複数ファイルやフォルダでもOK)をD&D
- ③ インサートされた状態をプレビュー確認
- ④ 書き出し

のたった4工程です。



2.2. バックグラウンドインサート処理

本ソフトウェアは、最終的な書き出し時にお待たせする時間を極力減らし、かつ、書き出し後のファイルを再度確認する、という手間をなくすため、様々な工夫をしております。

- インサートファイルが指定された瞬間から、バックグラウンドで内部でインサート処理を実施
- インサート準備完了後はインサートされたファイルをプレビューしている状態を仮想的に実現しています。

つまり、書き出し前にインサート区間を確認している間にインサート処理は完了しており、画質劣化の確認や、ファイルそのものが問題ないかなど、仮想的にすでにインサートされたファイルを確認していることと同義となります。

実際、内部のロジックでも、たとえば「コピー書き出し」は本当にただファイルをコピーする関数を起動しているだけ、という状況です。

2.3. アダプティブGOP編集

XDCAMで使用されているMPEG2 LongGOPでは複数フレームを一つのGOP(Group of Picture)として圧縮しており、その一部分を別のMPEG2で差し替えるには、GOPの接合点を再度エンコードして滑らかに接続する処理が必要です。

一般的なスマートレンダリングでは、このとき、ひとつ分のGOPをまとめて再エンコードする処理が多いですが、再エンコードは若干ですが画質の劣化を伴います。

そのため、本ソフトウェアでは、GOP内のPフレーム、Bフレームという参照フレームのうち、本当に書き換えが必要なフレームのみを再エンコードすることで画質劣化を極力抑えています。

さらに、接合の際、圧縮データのサイズが微妙に異なる部分を整え、オリジナルファイル内に収まるように調整しています。

2.4. 自動トランスコード機能

インサートするファイルには、ProRes(MOV)を指定できます。この場合、オリジナルがMXFの場合は、自動的にXDCAM形式のファイルにトランスコードを実施し、トランスコードしたファイルをインサートします。

(オリジナルがMOVファイルの場合、トランスコードは実施されません。インサートファイルにはオリジナルと同じコーデックのファイルを指定してください。)

2.5. MOV追記モード

ProResのMOVファイルでは、フレームデータ間に隙間がほとんどなく、フレームデータ自体のサイズも画柄によって大きく変わるため、インサートするための場所が確保できない場合があります。通常、この場合リラップでの出力となりますが、追記モードを設定している場合、溢れたフレームデータをMOVファイルの後方に追記することで短時間のインサートが可能です。

追記モードで生成されたファイルはMOVファイルの規格として問題ない状態であり、複数の編集ソフトやファイル再生機で問題なく再生できることを確認しています。しかし、ストリーミングで再生しているファイルや、ファイルの先頭から時間順にフレームデータが並んでいると決め打ちしているような再生機があった場合、再生で異常が生じる可能性があります。ご利用いただく環境で問題なければ追記モードをご利用ください。

2.6. 書き出しモードとリカバリ

書き出しは、「オリジナルへインサート」「コピー書き出し」「リラップ書き出し」の3つのモードを用意。

「オリジナルへインサート」は破壊編集となり、元のファイルの状態は失われるため、不安に思う方も安心できるよう、「リカバリ機能」を用意しています。

バックグラウンドインサート時に、書き換え予定部分の部分バックアップを自動的に取得しており、インサート後に元に戻すことが可能です。

仮に、書き出し中にアプリが落ちたり、OSがハングしても、「インサート履歴」画面からリカバリが可能ですので安心してご利用いただけます。

2.7. 簡易ファイルチェック機能

バックグラウンドインサート処理時に、できあがったインサート後の仮想ファイルの簡易チェックを実施しています。

AS MXF Checkerで培われたチェック機構を部分採用しており、万が一インサート後のファイルがNGの場合、書き出し前に未然にエラーとして防ぎます。

3. インストールとセットアップ

3.1. ダウンロード手順

製品のダウンロードは、アンバーサインウェブサイトのサブスクリプション管理ページから行います。ダウンロード時に使用許諾契約に同意する必要があります。

3.2. インストール方法

ダウンロードしたインストーラーを実行し、画面の指示に従ってインストールを進めます。インストール後、初めてご利用になる際に使用許諾契約に改めて同意する必要があります。

3.3. ライセンス認証とアクティベーション

インストール後、ソフトウェアを起動するとライセンス認証が求められます。ライセンス認証には、オンライン認証とオフライン認証の2通りがあります。環境に応じた方法でアクティベーションを完了させてください。

- オンラインライセンス認証 **<推奨>**

ソフトウェアがアンバーサインライセンスサーバーにアクセスし、サブスクリプション更新やプラン変更を自動で行います。基本的にオンライン認証を推奨いたします。

次の手順でライセンス認証を行うことができます。

1. ソフトウェア利用規約に同意のチェックをお願いします。
2. デバイス名を必要に応じて入力してください。サブスクリプション管理画面で表示されますので、わかりやすい名前をつけることをお勧めします。
3. 「アクティベーションする」のボタンを押してください。

☒ ソフトウェア利用規約および関連規定に同意します

ライセンス認証に必要な情報を入力してください。

デバイス名

必須ではありませんがサブスクリプション管理画面で表示されるため、分かりやすい名前をつけることをお勧めします。

認証方法 ☒ オンライン
(普段デバイスはインターネットに接続されています) <お勧め>

☐ オフライン
(普段デバイスはインターネットに接続されていません)

オンライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に自動でライセンス認証が更新されます。
オフライン認証の場合、サブスクリプションの更新時に手でライセンス更新を行う必要があります。

[» プロキシ設定](#)

アクティベーションする

- アンバーサインWebサイトへ遷移します。ログインしていない場合、ログインを求められます。
- ライセンスを適用するサブスクリプションを選択してください。ユーザーメモ欄に、端末に関するメモを入力することができます。必要に応じて入力してください。
- 「ライセンスを適用する」ボタンを押してください。ライセンスが適用され、自動的にアプリケーションが使用可能になります。

ライセンスの適用

ライセンスを適用する
デバイス・製品

デバイス名 akinoMacBook-Air-2.local
OS MacOS (Apple Silicon)
製品 AS MXF Audio Inserter
認証方法 オンライン

適用する
サブスクリプションの
選択

	製品名・プラン名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在のご 利用期間	自動更新	ユーザーメモ
☒	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	

ユーザーメモ

ライセンスを適用する »



プロキシ経由でインターネットに接続している場合、デフォルトのプロキシ利用設定は「OS設定に従う」になっておりますので、通常はそのままプロキシ経由でオンラインライセンス認証が可能です。

ただし、以下の環境では、プロキシ設定のリンクをクリックして、「静的に指定する」をご選択いただき、プロキシサーバーのアドレスなどを登録してください。

- (macOS)「自動プロキシ検出」「自動プロキシ構成」を利用してプロキシを利用している環境
- プロキシにID、パスワードが必要な環境

- オフラインライセンス認証

インターネットに接続できない環境でソフトウェアを利用するための方式です。サブスクリプションの更新ごとに手動で新しいライセンスファイルを適用する必要があります。

次の手順でライセンス認証を行うことができます。

1. ソフトウェア利用規約に同意のチェックをお願いします。
2. デバイス名を必要に応じて入力してください。サブスクリプション管理画面で表示されますので、わかりやすい名前をつけることをお勧めします。
3. 「デバイス認証ファイルをダウンロード」ボタンを押すと、「AS-Device-authentication.txt」という名前のファイルがダウンロードされます。これがデバイス認証ファイルです。

4. 別のPCなどでアンバーサインWebサイトを開き、「サブスクリプション画面」に「オフラインライセンスを適用する」というメニューがありますのでそれをクリックしてください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動 更新	支払 方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	カード		ダウンロード デバイス管理

[クレジットカード変更および領収書発行](#) >>

オフラインライセンスの適用・解除はこちら

- >> オフラインライセンスを適用する (デバイス認証ファイルが必要です)
- >> オフラインライセンスを解除する (ライセンス解除要求ファイルが必要です)

5. 「オフラインによるライセンス適用」画面で、さきほどダウンロードした「デバイス認証ファイル」を読み込ませてください。
6. ライセンスを適用するサブスクリプションを選択してください。ユーザーメモ欄に、端末に関するメモを入力することができます。必要に応じて入力してください。
7. 「ライセンスを適用する」ボタンを押してください。「ライセンスファイル」(AS-License.txt) がダウンロードされます。

オフラインによるライセンス適用

デバイス認証ファイル

[ファイルを選択](#)
AS Device...tion (14).txt

ライセンスを適用する
デバイス・製品

デバイス名

akinoMacBook-Air-2.local

OS

MacOS (Apple Silicon)

製品

AS MXF Audio Inserter

認証方法

オフライン

適用する
サブスクリプションの
選択

	製品名・プラン名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動更新	ユーザーメモ
☒	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	☐	
☐	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	☐	

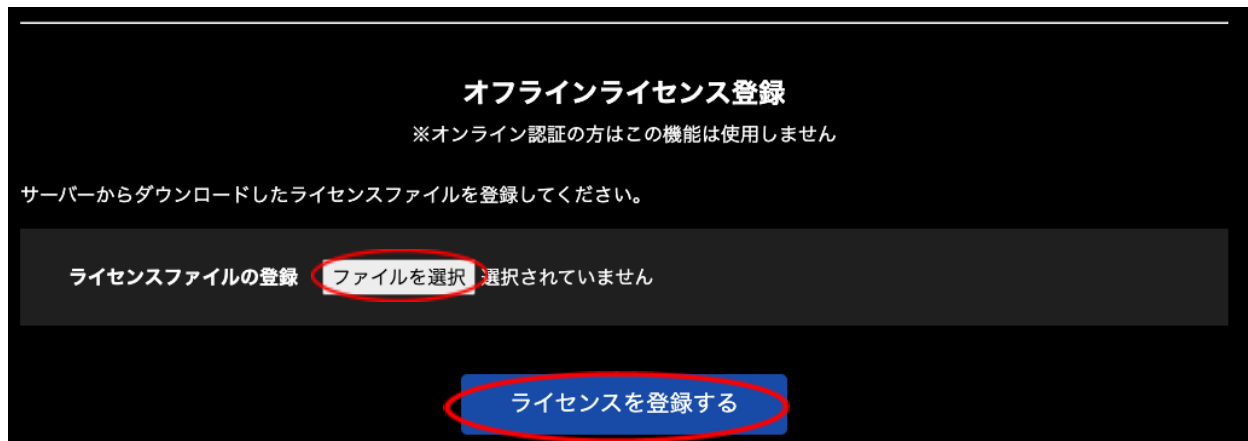
ユーザーメモ

<< [元のページへ戻る](#)

[ライセンスを適用する](#) >>

8. ソフトウェアのライセンス認証画面に戻り、一番下にある「オフラインライセンス登録」のメニューから、先ほどダウンロードしたライセンスファイル

を読み込ませ、「ライセンスを登録する」ボタンを押してください。これでアプリケーションが使用可能になります。



3.4. ライセンスの更新

オフラインライセンスの場合、サブスクリプション期間の更新の際に、新しいライセンスファイルを適用する必要があります。新しいライセンスの適用は、現在のライセンス期間終了後、猶予期間(通常14日間。トライアルの場合、3日間)内に行うことができます。猶予期間を過ぎるとアプリケーションが使用不可になりますのでご注意ください。

1. アンバーサインWebページの「サブスクリプション管理」画面の中の「デバイス管理」ボタンを押してください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払いサイクル	現在のご利用期間	自動更新	支払方法	ユーザーメモ	
1	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
2	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
3	AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理

2. 「デバイス管理」画面から、新しいライセンスを適用したいデバイスのライセンスファイルをダウンロードしてください。

デバイスの管理

製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動更新	ユーザーメモ
AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	

No.	端末・サーバー名	OS	登録日	認証方法	⚠ お知らせ	ユーザーメモ
1	akinoMacBook-Air-2.local	MacOS (Apple Silicon)	2025/4/12	オフライン		 ライセンスファイル

3. ソフトウェアの管理画面に遷移し、「ライセンス更新」メニューから先ほどダウンロードしたライセンスを選択してください。「ライセンス期限」が更新されれば完了です。

アカウント : aki.hanzawa@amber-sign.jp

ライセンス状態 : active

プラン : Premium

確認方法 : offline [オンラインに切り替える](#)

最終ライセンス確認日時 : 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST

ライセンス期限 : 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新 : **ファイルを選択** 選択されていません

ライセンス解除 : [ライセンスを解除する](#)

※ オンラインライセンスの場合、自動的に新しいライセンスが適用されますので何もする必要はありません。

3.5. ライセンスの解除

端末の更新などでライセンスを移行する必要がある場合、現在ご利用中の端末からライセンスを解除し、新しい端末に改めてライセンスを適用していただくことができます。

1. ソフトウェアの管理画面に遷移し、「ライセンス解除」ボタンを押してください。
オンラインライセンスの場合、以上でライセンスの解除は完了です。解除した端末ではもうソフトウェアはご利用いただけません。アンバーサインWebサイトより、ライセンスが戻っていることをご確認ください。
オフラインライセンスの場合、「ライセンス解除要求ファイル」(

AS-Request-Deactive.txt)がダウンロードされます。この時点で端末ではソフトウェアがご利用いただけなくなります。「ライセンス解除要求ファイル」をアンバーサインWebサイトより正しく適用しないと、ライセンスが利用不能になりますのでご注意ください。

アカウント : aki.hanzawa@amber-sign.jp

ライセンス状態 : active

プラン : Premium

確認方法 : offline [オンラインに切り替える](#)

最終ライセンス確認日時 : 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST

ライセンス期限 : 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新 : [ファイルを選択](#) 選択されていません

ライセンス解除 : [ライセンスを解除する](#)

- アンバーサインWebサイトに遷移し、サブスクリプション管理画面下部の「オフラインライセンスを解除する」をクリックしてください。

サブスクリプションの管理

No.	製品名	契約数	登録数	支払い サイクル	現在の ご利用期間	自動 更新	支払 方法	ユーザーメモ	
1	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
2	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	1	1年	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理
3	☒ AS MXF Audio Inserter Client Standard	1	0	1ヶ月	トライアル中 2025/4/24まで	○	カード		ダウンロード デバイス管理

[クレジットカード変更および領収書発行](#) >>

オフラインライセンスの適用・解除はこちら

- >> オフラインライセンスを適用する (デバイス認証ファイルが必要です)
- >> [オフラインライセンスを解除する \(ライセンス解除要求ファイルが必要です\)](#)

3. ライセンス解除画面で、先ほどダウンロードした「ライセンス解除要求ファイル」を入力し、「ライセンスを解除する」ボタンを押してください。これで解除したライセンスが再び使用可能な状態に戻ります。

ライセンスの解除

ライセンス解除要求ファイル

ファイルを選択 | AS Reque...ctive (1).txt

デバイス情報

デバイス名	akinoMacBook-Air-2.local
OS	MacOS (Apple Silicon)
認証方法	オフライン
ユーザーメモ	

解除するライセンス

製品	AS MXF Audio Inserter Client Standard
契約期間	トライアル中 2025/4/24まで
自動更新	有
契約数	1
登録数	1 → 2
ユーザーメモ	

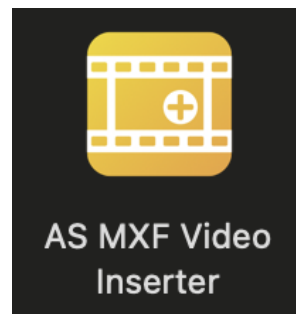
◀ 元のページへ戻る

ライセンスを解除する ▶

4. 使い方

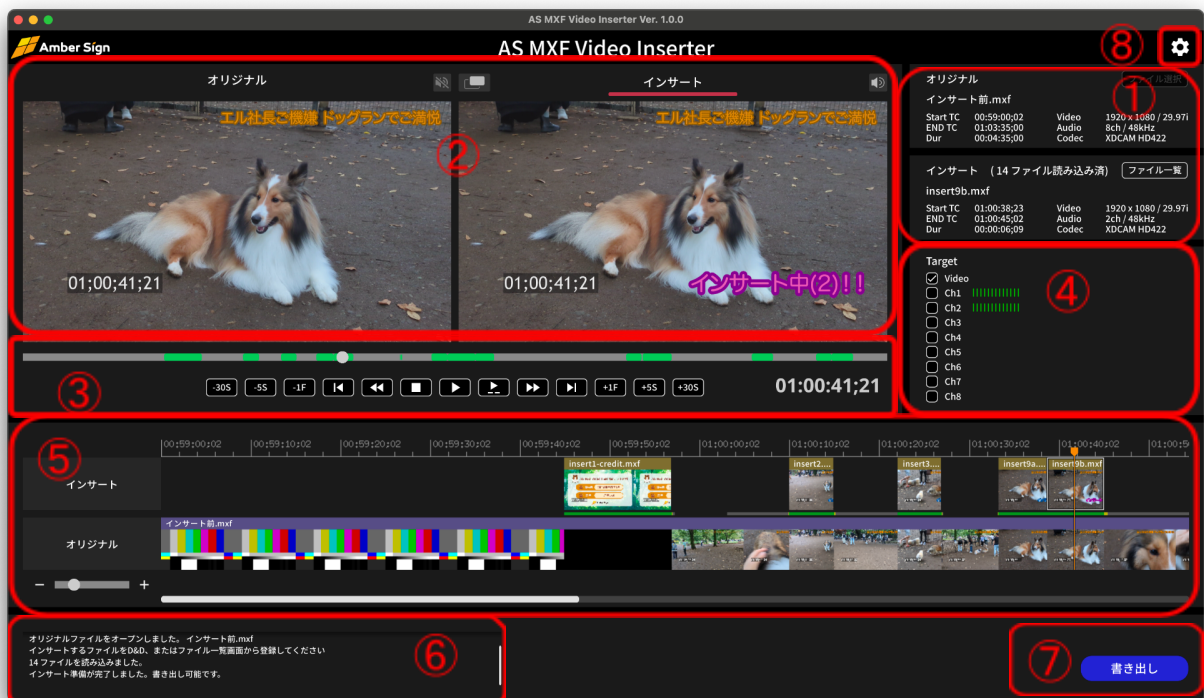
4.1. ソフトウェアの起動

『AS MXF Video Inserter』のアイコンを起動します。



4.2. メイン画面

起動後、メイン画面が表示されます。メイン画面には、以下の主要なセクションが表示されます。



ファイル情報エリア(①)

- オリジナルファイルとインサートファイルの情報を表示します。
- オリジナル側
 - ファイル名、Start TC、End TC、Duration、Video、Audio、Codecが表示されます。
 - 「ファイル選択」ボタン

オリジナルMXFファイルを読み込むことができます。オリジナルを一度読み込むとボタンは無効になります。再度オリジナルファイルを指定するには、タイムラインを初期化してください。
- インサート側
 - 読み込み済みのインサートファイル数と、選択中のインサートクリップの情報が表示されます。

TCを変更してタイムラインに載せている場合、StartTCが青く表示され、「(+1F)」のように調整しているフレーム数が表示されます。(調整が大きい場合は表示されません)
 - 「ファイル一覧」ボタンから、インサートファイル一覧画面を開くことができ、ファイルの追加、TCの変更などを実施できます。詳細は、[インサートファイル一覧画面](#)の章をご参照ください。

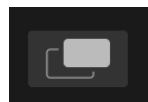
プレビューエリア(②)

- 左にオリジナル、右にインサート後の映像を表示します。

SDI出力有効時は、音声はSDI側のみ出力されます。SDI出力無効時はPCスピーカーから出力されます。PCスピーカー出力時にどのchの音を再生するかは[環境設定](#)の章をご覧ください。
- 映像表示部分上部にある下記のボタンを押している間、インサート後の映像表示部分にオリジナルの画像が表示されます。(SDI出力側も同様)

パカパカすることで画像に違いがある部分を視認しやすくなります。

再生中はSDI出力側のバッファの関係で1秒程度遅れて反映されます。



- SDI出力デバイスが有効の場合、外部ディスプレイへ、オリジナル、インサート、または2画面表示を切り替えて出力できます。どちらを出力するかは映像表示部分上部にあるボタンで切り替えができます。

2画面表示の場合、どちらの音を出力するか選択ができます。

再生中はSDI出力のバッファの関係で1秒程度遅れて反映されます。



- SDI出力デバイスが無効の場合、オリジナル側またはインサート側の音声を切り替えて確認できます。



再生コントロールエリア(③)

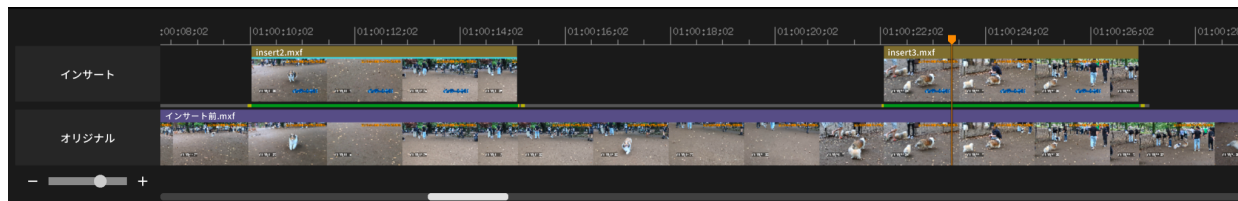
以下の機能で再生制御を行うことができます。ショートカットキーも用意されています。ショートカットキーについては[ショートカットキー](#)の章をご覧ください。

- スライダー
 - 再生位置を移動できます。スライダーにはインサートされる区間が緑色で表示されます。
- 再生ボタン(▶) 再生を開始します
- 停止ボタン(□) 再生を停止します
- 区間再生ボタン(▶) インサート区間のみ連続再生します
- 早送りボタン(▶▶) 再生速度をプラスします
- 速戻しボタン(◀◀) 再生速度をマイナスします
- 区切り移動ボタン(◀▶)
 - インサート区間の区切りに移動します
- -30S,-5S,-1F,+1F,+5S,+30Sボタン
 - フレームを移動します
- タイムコード表示エリア
 - 現在位置のタイムコードを表示します。タイムコードを入力してEnterを押すと、指定した位置へジャンプできます。

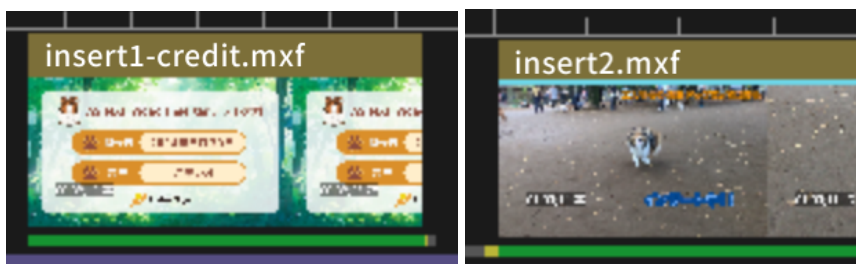
ターゲットエリア(④)

- インサート対象にするトラックを指定します。
初期状態ではVideoのみがオンになっています。(この状態では映像のみがインサートされます)
必要に応じてVideoトラックや、音声チャンネルをオン・オフにしてください。
- 各音声チャンネルの右側には音声レベルメーターが表示されます

タイムラインエリア(⑤)



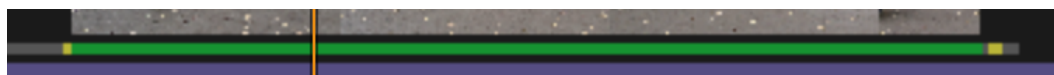
- 上段にインサート、下段にオリジナルのタイムラインが表示されます。
- タイムライン上のクリップにはファイル名とサムネイルが表示されます。クリップのスタート位置を調整している場合、ファイル名の下にシアン色が表示されます。

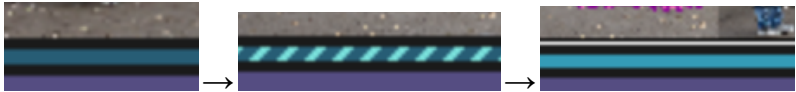


- プレイヘッド(オレンジ色の縦棒マーカー)
現在の再生位置を示しています。ヘッドの部分をドラッグすることでスクラブできます。



- インサート状態表示
インサートクリップの下の色で、インサート後の適用状態が視認できるようになっています。



緑色	インサート後のクリップをそのまま適用できている区間です。画質劣化はありません。
青緑色	movファイルを載せたときに自動トランスコードされた区間です。 暗い青緑色(トランスコード前)→アニメーション(トランスコード中) →青緑色(トランスコード完) と遷移します。 

黄色	GOPの接合処理で再エンコードが実施されたフレームです。圧縮しなおしているため画質劣化の可能性があります。
紫色	オリジナルファイルがMOVの場合で、追記モードの場合に、インサートするフレームが入りきらず、ファイル後方に追記されることを示す表示です。
グレー	画質には影響ありませんが、ファイル上の位置に移動が発生しているフレームです。 オリジナルファイルにインサート区間をはめ込む際、エリアが足りない場合に、「周囲の隙間をかき集める」処理を行います。かき集めた結果、ファイル上の物理的な位置が変わるため、それを示しています。通常、気にする必要はありません。

- タイムライン上のクリップを選択すると、右上のインサート情報エリアに詳細が表示されます。
- 選択したクリップを右クリックすると右クリックメニューが表示されます。下記の機能を指定できます。
 - 削除 クリップを削除します
 - 1フレーム進める 1フレーム右に動きます
 - 1フレーム戻す 1フレーム左に動きます
 - 元のTCに戻す クリップ自体の元のTCの位置に戻します
 - Finder／エクスプローラーに表示
Finder／エクスプローラーで当該ファイルを表示します



- タイムラインのズームスライダー、拡大／縮小ボタンにより表示倍率を変更できます。ショートカットキーでも拡大／縮小が可能です。

インフォメーションエリア(⑥)

バックグラウンドで実行されるインサート準備処理の状況などが表示されます。

書き出しボタン(⑦)

書き出しメニューを開きます。

インサート準備処理で問題が発生した場合、「書き出し不可」「書き出し注意」「要リラップ」「リラップ推奨」などの表示が書き出しボタン付近に表示されます。

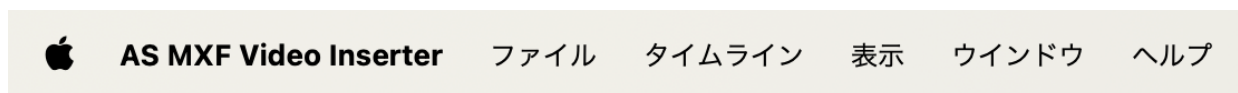
環境設定画面表示(⑧)

環境設定画面を開きます。(Webブラウザが起動します。)

環境設定画面の詳細は[環境設定](#)画面の章を参照してください。

4.3. メニューについて

macOSの場合、メニューバーに、Windowsの場合、ウィンドウの上部に、メニューが表示されます。



- 「ファイル」メニュー
 - 「書き出し」

書き出しメニューを開きます。画面右下の書き出しボタンと同じです。
 - 「インサート履歴」

インサート履歴画面を開きます。詳細は[インサート履歴](#)の章を参照してください。
 - 「キャッシュフォルダ設定」

キャッシュフォルダ設定画面を開きます。詳細は[キャッシュフォルダ設定](#)の章を参照してください。
 - 「環境設定」

管理画面に遷移します。メイン画面右上の歯車マークと同じです。
 - 「ログのあるフォルダを開く」

ログファイルのフォルダを開きます。不具合時などに当社にログを送信する場合にこちらから取得してください。
- 「タイムライン」メニュー
 - 「初期状態に戻す」

タイムラインをクリアし、最初から作業を行うときに使用します。
- 「拡大」

タイムラインを拡大します。
- 「縮小」

タイムラインを縮小します。
- 「全体表示／戻す」

タイムライン全体を表示します。もう一度押すと元のサイズに戻ります。

- 「表示」メニュー

- 「ガイド」

ガイドスーパーのON/OFFができます。

[ガイドスーパー機能](#)の章も参照してください。

- 「SDI出力」

SDI出力のON/OFFができます。状態は保存されず、今回のみの設定になります。

- 「SDI出力デバイス」

「出力しない」「自動検出」の他、現在認識しているデバイスが一覧されます。選択すると、そのデバイスからSDIが出力されます。アプリを起動中にデバイスの接続や切断を行なった場合、「デバイス再認識」を選択することで再度デバイスを認識し直します。

4.4. インサートファイル一覧画面

ファイル情報エリアの「ファイル一覧」ボタンを押すと本画面が開きます。または、ドラッグ&ドロップで指定したファイルに、TC被りやオリジナルファイルの区間外だった場合にも本画面に遷移します。

インサートファイル一覧

件数: 16件 タイムライン Start TC: 00:59:00;02 End TC: 01:03:35;00 Duration: 00:04:35;00

ファイル名	ファイル種類	Start TC ▲	End TC	Duration	状態	
insert1-credit.mxf	XDCAM HD422	00:59:45;04	00:59:57;04	00:00:12;00		削除
insert2.mxf	XDCAM HD422	01:00:10;03	01:00:15;05	00:00:05;02		削除
insert3.mxf	XDCAM HD422	01:00:22;04	01:00:27;00	00:00:04;26		削除
insert9a.mxf	XDCAM HD422	01:00:33;11	01:00:38;23	00:00:05;12		削除
insert9b.mxf	XDCAM HD422	01:00:38;23	01:00:45;02	00:00:06;09		削除
insert4a.mxf	XDCAM HD422	01:01:00;02	01:01:00;07	00:00:00;05		削除
insert4b.mxf	XDCAM HD422	01:01:00;13	01:01:00;22	00:00:00;09		削除
insert10a.mxf	XDCAM HD422	01:01:10;00	01:01:30;00	00:00:20;00	一部隠れ	削除
insert10b.mxf	XDCAM HD422	01:01:15;02	01:01:23;28	00:00:08;26	前面	削除
insert5_as.mov	ProRes 422HQ	01:01:40;03	01:01:55;12	00:00:15;09		削除
insert6a.mxf	XDCAM HD422	01:02:12;00	01:02:16;26	00:00:04;26		削除

一部隠れのファイルがあります。
ファイル名:

ファイル追加 キャンセル OK

インサートファイル一覧画面の各機能には下記があります。

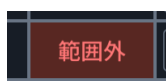
- 現在インサートファイルとして指定されているファイルが一覧されます。
各行をクリックすると、選択状態になり、フルパスのファイル名が下部の「ファイル名:」に表示されます。
- 行をダブルクリックすると、Finder/エクスプローラーで当該ファイルを表示します。
- 行を右クリックすると、右クリックメニューが表示されます。
クリップ同士の被りがある場合、「前面へ」「背面へ」のメニューが表示され、被っているクリップの順序を指定できます。



- クリップ同士の区間が被り、一部隠れている場合、状態欄に「一部隠れ」と表示されます。その場合に上面にあるクリップには「前面」と表示されます。
- クリップ同士の区間が被り、全て隠れている場合、状態欄に「全隠れ」と表示されます。全隠れのクリップは削除するか前面に移動しないとOKが押せません。



- クリップ同士がオリジナルのタイムコード区間外(一部区間外を含む)の場合、「範囲外」と表示されます。範囲外のクリップは、StartTCを調整して範囲内に移動するか、削除しないとOKが押せません。



- 「ファイル追加」ボタンを押すことで、ファイルの追加ができます。
- 本画面にファイルをドラッグ&ドロップすることでファイルの追加ができます。
- 「キャンセル」ボタンを押すと画面を閉じます。変更した内容は無効になります。
- 「OK」ボタンを押すと変更した内容を確定させ、タイムラインに反映させて本画面を閉じます。

4.5. 書き出しダイアログ

メイン画面で「書き出し」ボタンを押下すると本ダイアログが開き、インサート後のファイルを書き出すことができます。

本ソフトウェアでは、実際に書き出しを行う前に、GOP再エンコードや部分バックアップなどを完了させているため、書き出し自体は高速に実施することが可能です。



- 「書き出しモード」

- 「オリジナルへインサート」

オリジナルファイルを直接書き換える破壊編集モードです。最も高速ですが、オリジナルファイルが書き換わるリスクがあります。

ただし、本ソフトウェアのリカバリ機能で後から元に戻すことも可能です。[インサート履歴](#)画面の章をご参照ください。

- 「コピー書き出し」

オリジナルファイルは変更せず、コピーしながらインサートを行うモードです。元ファイルには影響がないため安全です。

- 「リラップ書き出し」

オリジナルファイルは変更せず、別のファイルを作り直します。コピー書き出しよりは若干時間はかかりますが、元ファイルの規格

違反などが解消されますのでより安心して納品にご利用いただけるモードです。

- 「フォルダ名」「ファイル名」(コピー書き出し、リラップ書き出しの場合のみ)
 - 書き出し後のフォルダ名、ファイル名を指定できます。直接入力のほか、「...」を押して、Finder／エクスプローラーの画面で指定することも可能です。
- 「インサート記録」「記録ファイル」
 - チェックをオンにすると、インサート区間のTC、ファイル名などを記載したcsvファイルまたはpdfファイルを出力できます。
- 「書き出し」ボタン
 - 書き出しを開始します。
 - 書き出し中、中断ボタンを押すと中断できます。
「オリジナルへインサート」中に中断ボタンを押した場合、Undo処理が走ります。その他のモードの場合、書き出し中のファイルは削除されます。

4.6. ガイドスーパー表示機能

1920 x 1080 サイズのpng画像をメイン画面にドラッグ & ドロップすると、画面上およびSDI出力のみに表示されるガイドスーパーを指定することができます。

納品前に、マスターやサブの運用で追加される時計やサイドスーパーなどに被りがないかなどをプレビュー時に確認できる機能です。

png画像をドラッグ&ドロップする前は、95%のセーフティエリアを示す線の画像がデフォルトで入っています。アプリを落とすと、ガイドスーパーはクリアされますので再びpng画像をドラッグ&ドロップしてください。

ガイドスーパーを消したいときは、上部メニューの「表示」→「ガイド」をクリックするか、⌘/ctrl + : キーでオン・オフできます。



4.7. インサート履歴画面

上部メニューの「ファイル」→「インサート履歴」を押下すると本画面が開きます。

過去インサートした記録が列挙され、確認が可能です。

インサート履歴

履歴保持期間: 14日 件数: 23件

インサート日時	モード	オリジナルファイル	状態	リカバリ	箇所数
2026/06/20 10:21	ダイレクト	/Volumes/share/インサート前のコピー.mxf	完了	可	7
2026/06/20 10:14	ダイレクト	/Users/aki/Downloads/test/インサート前のコピー.mxf	取消済み	-	7
2026/06/20 01:24	ダイレクト	/Users/aki/Downloads/test/インサート前のコピー.mxf	取消済み	-	1
2026/06/19 09:49	コピー	...ン共有/10.開発/AS MXF Video Inserter/搬入テスト素材/インサート前.mxf	完了	-	8
2026/06/19 09:28	コピー	...ン共有/10.開発/AS MXF Video Inserter/搬入テスト素材/インサート前.mxf	完了	-	8
2026/06/19 09:25	コピー	...ン共有/10.開発/AS MXF Video Inserter/搬入テスト素材/インサート前.mxf	完了	-	8
2026/06/19 09:25	コピー	...ン共有/10.開発/AS MXF Video Inserter/搬入テスト素材/インサート前.mxf	完了	-	8
2026/06/15 14:50	コピー	...ン共有/10.開発/AS MXF Video Inserter/搬入テスト素材/インサート前.mxf	完了	-	8
2026/06/15 14:44	コピー	...ン共有/10.開発/AS MXF Video Inserter/搬入テスト素材/インサート前.mxf	完了	-	8
2026/06/15 14:38	リラップ	/Users/aki/Downloads/test/インサート前_1分.mxf	完了	-	1

オリジナルファイル: /Volumes/share/インサート前のコピー.mxf

インサート後ファイル:

閉じる

インサート記録出力

リカバリ

- 「インサート記録出力」

- 選択した行のインサート記録を出力できます。書き出し時の画面で指定し忘れた場合や、異なる形式で再出力したい場合にこのボタンを押してください。

- 「リカバリ」

- 「オリジナルへインサート」機能で、直接インサートを行ったファイルに対し、元の状態へ戻すことができる機能です。「リカバリ」欄が「可」になっているときのみ押下できます。
- 「リカバリ」欄が「可」になっていても、オリジナルファイルが元の場所がないケースや、さらに書き換えをしているケースなどではリカバリができない場合があります。

4.8. キャッシュフォルダ設定ダイアログ

上部メニューの「ファイル」→「キャッシュフォルダ設定」を押下すると本ダイアログが開きます。

本ソフトウェアでは、インサート中の再エンコードを実施しフレームデータや、トランスコードしたファイル、リカバリ用の部分バックアップファイルなどを「キャッシュフォルダ」に格納しており、そのフォルダの位置、容量、保持日数を設定するダイアログです。

デフォルトでは、キャッシュフォルダは、OSの一時データ保管エリア、保持期間は7日、保持容量は10GBになっています。

キャッシュフォルダ設定

動作用のキャッシュフォルダを指定できます。
デフォルトは、ユーザー用のテンポラリフォルダです。

現在のキャッシュサイズ 9.8 GB フォルダを開く キャッシュクリア

キャッシュフォルダ デフォルトに戻す

キャッシュ保存日数 日

キャッシュ保持容量 GB

キャンセル OK

- 「現在のキャッシュサイズ」

- 現在のキャッシュフォルダの容量が表示されます。
- 「フォルダを開く」

現在のキャッシュフォルダをFinder／エクスプローラーで開きます。

- 「キャッシュクリア」

古いキャッシュを削除します。現在のタイムラインで必要なファイルは削除されません。

- 「キャッシュフォルダ」

- 現在のキャッシュフォルダのパスが表示されます。
- フォルダマークボタンで任意の位置に指定ができます。
- 「デフォルトに戻す」ボタンでデフォルトの位置に再指定ができます。

- 「キャッシュ保存日数」
 - ここで指定した日数、キャッシュファイルが維持されます。日数を超えると、アプリの起動時または終了時に削除されます。キャッシュが削除されるとリカバリは不可となります。
- 「キャッシュ保持容量」
 - ここで指定した容量、キャッシュファイルが維持されます。容量を超えた場合、「キャッシュ保存日数」以内であっても削除されます。容量を超えた分がアプリの起動時または終了時に削除されます。キャッシュが削除されるとリカバリは不可となります。
なお、現在のタイムラインで必要なキャッシュは削除されないため、一時的にここで設定した容量を超えて存在する場合があります。
- 「OK」ボタン
 - 設定した内容を確定します。

4.9. ショートカット一覧

メイン画面では、様々なショートカットで再生制御などが可能です。

カテゴリ	機能	Mac	Windows
再生・停止	再生／停止	Space	Space
	インサート区間を全再生	Shift + Space	Shift + Space
	逆方向に再生・速度を増加	J	J
	停止	K	K
	順方向に再生・速度を増加	L	L
再生ヘッドの移動	1フレーム戻る	←	←
	1フレーム進む	→	→
	1秒戻る	Shift + ←	Shift + ←
	1秒進む	Shift + →	Shift + →
	前の区切りへ移動	↑	↑
	次の区切りへ移動	↓	↓
タイムライン表示	タイムラインを縮小	-	-
	タイムラインを拡大	^	^
	タイムラインを最小表示	¥	¥
タイムコード入力	タイムコード入力を開始	テンキーの= または F2	F2
	タイムコード入力	テンキーの数字、 +、-	テンキーの数字、 +、-
音声・モニター	オリジナル側を選択	⌘ + 1	Ctrl + 1
	インサート側を選択	⌘ + 2	Ctrl + 2
	両方表示(音声オリジナル)	⌘ + 3	Ctrl + 3

	両方表示(音声インサート)	⌘ + 4	Ctrl + 4
	オリジナルを一時表示	Shift + V	Shift + V
	ガイドスーパーオン・オフ	⌘ + :	Ctrl + :
タイムライン編集	選択中の素材を削除	Backspace	Backspace
	素材を1フレーム戻す	⌘ + ←	Ctrl + ←
	素材を1フレーム進める	⌘ + →	Ctrl + →
その他	タイムライン初期化	⌘ + ⌘ + N	Ctrl + Alt + N
	書き出し	⌘ + E	Ctrl + E

※ SDI出力が無効の場合、⌘ / Ctrl + 1 はオリジナル側音声、⌘ / Ctrl + 2 はインサート側音声の切り替えになります。+3, +4はありません。

※ 日本語キーボードの場合です。英語キーボードの場合、キーが異なる場合があります。

5. Web設定画面

メイン画面の右上の歯車マークまたは、上部メニューで「ファイル」→「環境設定」を押下するとWebブラウザが開き、本画面に遷移します。



- 設定
AS MXF Video Inserter の設定を行います。
- プロキシ設定
プロキシの設定を行います。
- ライセンス設定
ライセンス状態の確認、ライセンスの更新、解除を行えます。
- このアプリについて
ソフトウェアのバージョン情報、および、ソフトウェア利用規約および関連規程を表示します。
- OSS/サードパーティーライセンス
Open Source Softwareや、その他ライセンスを表示します。必要に応じてご覧ください。

5.1. 基本設定画面



- PCスピーカー出力チャンネル
＜SDI出力をしない場合の設定です＞
音声を出力するチャンネルを、PCスピーカーのL、Rにそれぞれ指定できます。デフォルトでは、奇数chがL、偶数chがRに設定されています。
- OUT点を区間に含むか
OUT点を区間に含むかどうかの設定ができます。デフォルトは「含む」です。
普段お使いの編集ソフトによって、OUT点の考え方が異なるのでお好みに応じて設定してください。
- MXF出力モードのデフォルト
「オリジナルヘインサート」、「コピー書き出し」、「リラップ書き出し」から選択できます。書き出しダイアログ表示時のデフォルトの選択ですので、画面上で選択しなおすことができます。
- MOVインサートモード
インサート区間が範囲に収まらない場合のモードを指定します。
「リラップする」の場合、ファイルの再生成を促されます。
「追記する」の場合、溢れたフレームデータをファイル後方に追記するモードになります。この場合、MOVファイルの規格としては問題なく、短時間でのインサートが可能です。再生機や環境によって再生で異常が生じる可能性があります。ご利用いただく環境で問題なければご利用ください。

- MOVリラップ方式

MOVをリラップするときのモードを指定します。

「通常リラップ」ではMOVファイルを1から再生成します。

「ヘッダー継承」では元のオリジナルファイルのヘッダー状態をできるだけ維持するようにします。元のファイルとの互換性が必要な場合、こちらのモードをお試しください。

- インサート履歴保持日数

インサート履歴画面に表示される履歴の日数を設定します。記録が保持されている間は、インサート記録の再出力が可能です。リカバリもインサート履歴が残っていないと実施できませんが、さらにキャッシュファイルも残っている必要があります。

- SDI出力TCスーパー

SDIに出力するTCスーパーの有無、位置、サイズ、サブトンの透過度を指定できます。

SDI出力を2画面で表示する場合は、この位置の設定とは無関係に画面上部に表示されます。

- デバッグ

通常は設定不要です。

画面に、デコード済みのフレーム数を表示します。コマ落ちが発生する場合などにバッファの挙動を確認することができます。

※ SDI出力デバイスの設定は、メイン画面上部の「表示」メニューに移動しました。

5.2. プロキシ設定



プロキシ設定 : OSの設定に従う ▼

Save

プロキシ環境下で、ライセンス認証をオンラインで行うために必要な設定です。

- 「OSの設定に従う」「静的に指定する」「使用しない」が選択できます。デフォルトは「OSの設定に従う」です。「静的に指定する」を選択した場合、プロキシサーバーを指定する入力項目が表示されます。お使いの環境に合わせて登録してください。



プロキシ設定 : 静的に指定する ▼

サーバー :

ポート :

ID :

パスワード : パスワードは暗号化されずに送信される場合があります

Save

5.3. ライセンス設定

ライセンスの状況確認や、更新、解除が行えるメニューです。

① アカウント : aki.hanzawa@amber-sign.jp
ライセンス状態 : active
プラン : Premium
確認方法 : offline オンラインに切り替える ②
最終ライセンス確認日時 : 2025-07-10 13:06:42 +0900 JST
ライセンス期限 : 2026-05-24 12:20:13 +0900 JST (317日後)

ライセンス更新 : ファイルを選択 ③ 選択されていません

ライセンス解除 : ライセンスを解除する ④

ライセンス状態(①)

ライセンスが有効かどうかの情報、ライセンス認証方法、期限などを表示します。

オンライン・オフライン切り替え(②)

オンラインとオフラインを切り替えることができます。オフラインで登録していたが、インターネットが接続可能になった場合などに実施してください。

切り替えはインターネットに接続できる状態でのみ行うことができます。

ライセンス更新(オフラインライセンス認証時)(③)

ライセンスが更新になった場合や、プランを変更した場合などに、新たにライセンスファイルを適用することができます。アンバーサインWebサイトからダウンロードしたライセンスファイルを入力してください。

ライセンスファイルはご利用のデバイスに紐づいていますので別のデバイス用のライセンスを入力するとエラーになります。

ライセンス確認(オンラインライセンス認証時)(③)

ライセンス確認 : ライセンス情報を更新する

オンラインライセンス認証モードでは、「ライセンス情報を更新する」ボタンになります。ライセンス期限更新時やプランを変更して、ライセンスの最新情報をすぐに適用したい場合に押してください。（押さなくても半日～1日ほどで自動的に適用されます。）

ライセンス解除(④)

端末の故障や更新時に、もうこのデバイスでアプリを使用しない場合にライセンス解除を行うことができます。解除を行うと、アプリは使用不能となり、解除したライセンスを別のデバイスに適用することができます。

5.3.1. このアプリについて

ソフトウェアのバージョン情報、および、ソフトウェア利用規約および関連規程を表示します。

5.3.2. OSS／サードパーティライセンス

Open Source Softwareや、その他ライセンスを表示します。必要に応じてご覧ください。

6. トラブルシューティング

6.1. よくある質問とその解決策

Q. AS MXF Video Inserterでも音声のインサートができるので、AS MXF Audio Inserterの上位ソフトの扱いですか？

A. いいえ。

AS MXF Audio Inserterは、MA室でお使いいただくことを想定しており、インサートファイルはwavファイルで、chの組み替えや、chごとにwavファイルを指定するなどの機能、そして、書き出しながらプレビューなどの機能が充実しております。

一方で、AS MXF Video Inserterは「直し編集」専用のソフトとして特化した機能となっており、インサートファイルはmxf/movのみで音声chごとに別ファイルを指定する、などの機能もございません。

あくまで用途が異なるソフトであるご理解ください。

Q. 対応しているオリジナルファイルの種類は？

A. 現時点では、XDCAM HD422(MXF)、ProRes(MOV)、1920 x 1080、29.97i、29.97pに対応しています。

今後のバージョンアップにて、XAVC-I、および、XAVC-L(4K、HD)にも対応予定です。

Q. 対応しているインサートファイル(部分ファイル)の種類は？

A. XDCAM HD422(MXF)の他、ProRes(MOV)にも対応しています。ただし、オリジナルと解像度、フレームレートなどの属性が異なるファイルは登録できません。

Q. オリジナルファイルとインサートファイルは同じコーデックである必要がありますか？

A. オリジナルがMXFで、インサートファイルがmov(ProRes)の組み合わせも可能です。内部でトランスコードが自動で実施されます。

(オリジナルがMOVの場合は、インサートファイルもMOVである必要があります。)

なお、インターレース/プログレッシブは原則合っている必要がありますが、オリジナルがMXFかつ29.97iの場合に限り、29.97pのMOVファイルを指定することができます。

Q. オリジナルファイルを読み込もうとすると「対応していないファイル形式です」と表示されます。

A. オリジナルファイルが対応形式ではない可能性があります。現行版ではXDCAM HD422(MXF)、ProRes(MOV)のみ対応しています。ファイル形式、解像度、フレームレート、インターレース、音声コーデックをご確認ください。

Q. インサートファイルを追加すると「範囲外」と表示されます。

A. インサートファイルのStart TCとDurationが、オリジナルのタイムライン範囲内に収まっていません。インサートファイル一覧画面でStart TCを調整するか、そのファイルを削除してください。

Q. インサートファイルの位置は変更可能ですか？

A. タイムライン上で1フレーム進む、戻すの微調整が可能です。

また、インサートファイル一覧画面から任意のTCを入力可能ですので、オリジナルファイルとTCが合わないファイルでもインサートすることが可能です。

Q. インサートファイル一覧で「全隠れ」と表示されます。

A. 他のインサートクリップに完全に隠れている状態です。そのままではOKを押して反映できません。TCを変更する、削除する、または右クリックメニューで前面／背面の順序を調整してください。

Q. オリジナルファイルを変更することはできますか？

A. v1.1.0より、スタートTCと尺が同じファイルに限りできるようになりました。オリジナルファイルをクリックして選択し、右クリック→「オリジナル素材を変更」を選択するか、メイン画面の右上のオリジナルの「ファイル選択」をクリックしてください。

原盤がMOV、納品用はMXFといったケースで、インサートファイルを指定したまま、オリジナルファイルを差し替えることができます。

Q. 書き出しボタン付近に「要リラップ」と表示されます。

A. オリジナルMXF/MOVが直接インサートできない構造の場合、リラップ書き出しのみ可能になります。書き出しダイアログではリラップ書き出しが選択されます。

Q. 書き出しボタン付近に「リラップ推奨」と表示されます。

A. インサート後ファイル検査で注意が検出されています。書き出し自体は可能な場合がありますが、リラップ書き出しを推奨します。

Q. 書き出しボタン付近に「書き出し不可」と表示されます。

A. インサート後ファイル検査でエラーが検出されています。書き出しはできません。表示されるエラー内容を確認し、インサートファイルや設定を見直してください。

Q. SDI出力時にPCスピーカーから音が出ません。

A. SDI出力時はSDI側に音声出力されます。両方から同時に音は出せません。PCスピーカー出力設定はSDI出力時には無視されます。

Q. SDI出力をオン／オフしたり、途中で出力するデバイスを変更することはできますか？

A. v1.1.0から可能になりました。上部メニューの「表示」→「SDI出力」「SDI出力デバイス」から変更できます。

Q. ガイドスーパー表示を使いたい。

A. 「表示」メニューの「ガイド」をオンにしてください。初期状態では95%セーフティエリアのガイドが表示されます。PNGガイド画像を使用する場合は、1920 x 1080サイズの透過PNGをドラッグ&ドロップしてください。

Q. ダイレクトインサート後に元の状態へ戻したい。

A. 「ファイル」メニューの「インサート履歴」から、リカバリ可能な履歴を選択し、「リカバリ」を実行してください。リカバリ対象が現在のタイムラインに読み込まれている場合は、タイムラインを初期状態に戻してから実行してください。

Q. 書き出し途中でキャンセルした場合、途中ファイルは残りますか？

A. コピー書き出しまたはリラップ書き出しでキャンセルやエラーが発生した場合、途中まで作成された出力ファイルは削除されます。直接インサートでキャンセルされた場合は、変更を元に戻す処理が実行されます。

Q. ログファイルはどこから取得できますか？

A. 「ファイル」メニューの「ログのあるフォルダを開く」を選択してください。不具合調査時などにログファイルを取得できます。

Q. SDI音声にブツブツ音が入る場合がある。

A. 当社でも発生を確認しておりますが、Blackmagic社公式のソフトウェアでも発生するため、Blackmagic製品側の問題のようです。OSやドライバーのバージョンの組み合わせで発生す

る恐れがあり、デバイスのバージョンアップや、Thunderboltで接続するタイプであれば、抜き差しするなどご対応をお願いいたします。

7. 補足情報

7.1. ライセンスとトライアルについて

『AS MXF Video Inserter』は、端末1台ごとに1つのライセンスが必要です。ライセンス解除と適用を繰り返し、実質複数の端末でご利用いただくことはライセンス違反になりますのでご注意ください。

初めてのご利用には、トライアルとして一定期間無料で機能制限なしでご評価いただけます（トライアル可能期間は当社Webページをご覧ください）。トライアル中の実業務での使用はお控えください。トライアル期間中に本ソフトウェアの購入を決定して、本格導入を前提に使用する場合はこの限りではありません。

8. サポートについて

ご不明な点がございましたら、以下のサポート窓口までお問い合わせください：

Webフォーム：<https://www.amber-sign.jp/contact/>

メール：support@amber-sign.jp

サポート対応時間：平日 10:00～18:00（土日祝および当社が定める休日を除く）

継続課金型サービス（サブスクリプション）ユーザー向けサポート規程

<https://www.amber-sign.jp/terms/subscription.html>